

平成 29 年度長野県篠ノ井高等学校入学式  
式 辞

うらかな春の陽射しを浴びて、草木が一斉に芽吹き始める季節となりました。

この佳き日に、同窓会長 清水賢一 様を始め、多数のご来賓のご臨席を賜り、長野県篠ノ井高等学校 平成 29 年度入学式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

また、ご参列いただきました保護者の皆様には、本日のお子様のご入学を衷心よりお慶び申し上げます。我が子の成長を願い、陰に日向に手を差し伸べてこられたご労苦に対し、深く敬意を表するとともに、晴れて高校入学の日を迎えられた喜びは、いかばかりかと拝察いたします。

全日制課程 241 名、定時制課程 14 名の新入生の皆さん、ご入学まことにおめでとうございます。高校時代は、自分の周りの様々な人々との触れ合いを通じ、人格の形成において最も深みや彩を増す時期です。

新鮮で実りある経験をたくさん積んで下さい。

さて、私たちは今、大きな変化の時代を生きています。それは社会の構造そのものが、全く様変わりしてしまうような大きな変化です。例えば、高齢化社会の到来による社会保障制度の行き詰まり。また、第 4 次産業革命とも言われる、人工知能、ビッグデータ、ロボット化等、経済及び産業構造そのものの変化です。

もはや、過去の延長線上で物事を考えたり、問題を解決したりすることは出来ず、どこか他の国に参考となる事例を探すこともできません。今まさに、新しい状況を自らの頭で理解し、その理解に基づいて問題を解決する能力が皆さんに期待されているのです。

具体的には、これから本校で学ぶ教科・科目で、基礎的知識の習得の上に立ち、まだ誰も解答を与えていない問題にも取り組んでいきます。その問題に自分なりの解答を考え ―これを仮説としますが― その仮説を、理科であれば実験によって、数学であれば統計などによって、また文化系科目であれば資料、文献を読み解くことによって確認し検証する、そして結論を導くという一連のプロセスが、今後、一層重視されてきます。

現在盛んに議論されている 21 世紀型学力、私の理解では、「想定外の出来事や、グローバルな価値観に向き合える力」のことですが、こうした学力も、やはり学問をすることによって磨かれています。

しっかり勉強して下さい。

次に、自分の好きで得意な課外活動にも伸び伸びと取り組んで欲しいと思います。皆さんの中には、学業とスポーツの文武両道を高校生活の目標にしている人もいるでしょう。その為には、日々の授業としっかり向き合うことが先ず大切です。その上で、仲間と共に泣き、共に笑い、掛け替えのない友情を育みながら、学業とクラブ活動の両立を成し遂げて欲しい。

心から応援しています。

また、定時制課程で学ぶ皆さんは、中学校までとは違う日課など不安に感じていることもあるでしょう。しかし、ありのままの自分を見つめ、友と語り、先生方から学ぶ中で道は開かれていきます。何の心配もありません。  
毎日、しっかり学校へ来てください。

最後に、私の好きな言葉を皆さんに送ります。  
ひび これよきひ 日々是好日 「よき」は好きという漢字を書きます。「日々是好日、降っても晴れても」と続くと、更に分かり易いと教えられました。卒業までには、思い悩む日もあるでしょうが、翌朝には、「今日もいい日だ」と言い放ち、一歩前へと進む篠高生でありたい。  
高校生活のいろんな場面で、この言葉を思い出してみてください。

創立 90 有余年の伝統を持つ本校で、思う存分、伸び伸びと学ぶことを心より願い、式辞といたします。

平成 29 年 4 月 6 日

長野県篠ノ井高等学校長 岩田 学